

2011年5月31日

ニュースリリース

日興アセットマネジメント株式会社

日本株運用など複数の分野で高い評価を獲得

～「アジアインベスター2011 インベストメント・パフォーマンス・アワード」、「R&Iファンド大賞2011」受賞～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、日興AM)は、4月に発表されました「アジアインベスター 2011 インベストメント・パフォーマンス・アワード」において、日本国内における最優秀運用会社と認められ「ベスト・オンショア・ハウス」を、また、5月24日に発表された「R&Iファンド大賞2011」では、当社の「国内株式特化型(グロース戦略)」が受賞しました。

「アジアインベスター2011 インベストメント・パフォーマンス・アワード」は、アジア地域の機関投資家向け金融専門誌アジアインベスターが、アジアで商品・サービスを提供する資産運用会社を表彰するものです。日興AMは、これまで日本株の運用に関して同誌から表彰を受けています。本年は運用成績だけでなくクライアントサービス、資金流入、商品開発力などを総合的に高く評価され、日本国内における最優秀運用会社を受賞しました。

「R&Iファンド大賞 2011」は、個人投資家向けファンドや、確定給付年金ならびに確定拠出年金向けファンドの定量評価、定性評価の分野で長期的な実績を持つ格付投資情報センターが、優れた運用成績を示したファンドを表彰するものです。このほど、確定給付年金部門国内株式グロース型において当社の「国内株式特化型(グロース戦略)」が同賞の栄誉を受けました。

このたびの受賞にあたり、取締役社長兼CIOのビル・ワイルダーは次のように述べています。「日興AMは、これまで質の高い商品やサポートの提供に注力してまいりました。その成果が実を結び、受賞に至りましたことを光栄に思います。日興AMはオーストラリアやシンガポールの運用会社の買収を通じてアジア太平洋地域におけるビジネス基盤を強化しており、今後はアジア太平洋地域そして世界中の投資家のみなさまのニーズにお応えできる商品・サービスを提供できるように一層努めてまいります。」

以 上

「アジアインベスター インベストメント・パフォーマンス・アワード」について

毎年アジアインベスター誌により選出されるインベストメント・パフォーマンス・アワードは、世界的に優れた運用会社のほか、アジア各地域において優れたローカルプレゼンスを誇る運用会社や ETF 運用会社、販売会社などを表彰するもので、2011 年で 10 回目の開催となります。授賞式は、5 月 19 日コンラッド香港ホテルにて行なわれました。詳細はアジアインベスターのウェブサイトをご覧ください(英文): <http://www.asianinvestor.net/>

「R&I ファンド大賞 2011」について

「投資信託」、「投資信託／総合部門」は確定拠出年金専用ファンドを除く国内籍公募追加型株式投信、「確定拠出年金」は確定拠出年金向けに利用される国内籍公募追加型株式投信、「確定給付年金」は『R&I ユニバース計測サービス』に登録されているファンド、を対象にしており、いずれも基本的にR&Iによる分類をベースとしている。今年度について、「投資信託」は国内株式型、国内中小型株式型、国内債券型、外国株式型、外国債券型、国内REIT型、外国REIT型、中国関連株式型、インド株式型、エマージング株式マルチカントリー型、エマージング債券型、国内SRIファンド型の各カテゴリーを、「確定拠出年金」は国内株式型、国内債券型、外国株式型、外国債券型の各カテゴリーを、「投資信託／総合部門」は国内株式総合、外国株式総合、外国債券総合、バランス総合の各カテゴリーを、「確定給付年金」は国内株式コア型、国内株式グロース型、国内株式バリュー型、国内中小型株式型、国内債券型、外国株式型、外国債券型、外国株式エマージング型、外国債券エマージング型、国内株式マーケットニュートラル型の各カテゴリーを対象とする。

選考は、「投資信託」、「確定拠出年金」、「確定給付年金」では 2009、2010、2011 年それぞれの 3 月末時点における 1 年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位 75%に入っているファンドに関して、2011 年 3 月末における 3 年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。定量評価は、「投資信託」、「確定拠出年金」では"シャープ・レシオ"を採用、表彰対象は設定から 3 年以上かつ償還予定日まで 1 年以上の期間を有し、残高が 10 億円以上かつカテゴリー内で上位 75%以上の条件を満たすファンドとしている。「確定給付年金」では原則として定量評価に"インフォメーション・レシオ"を採用、定量評価がプラスのファンドを表彰対象としている。なお、「投資信託」、「確定拠出年金」では上位 1 ファンドを「最優秀ファンド賞」、次位 2 ファンド程度を「優秀ファンド賞」として表彰している。「確定給付年金」では受賞区分を設けていない。「投資信託／総合部門」では、2011 年 3 月末において残高 10 億円以上のファンドを 3 本以上設定する運用会社を表彰対象とし、各ファンドの 3 年間ににおける"シャープ・レシオ"の残高加重平均値によるランキングに基づき、上位 1 社を「最優秀賞」、次位 1 社を「優秀賞」として表彰している。

「R&I ファンド大賞」は、過去のデータに基づいたものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、投資の参考となる情報を提供することのみを目的としており、投資家に当該ファンドの購入、売却、保有を推奨するものではありません。また、R&I の顧客に対して提供している定性評価情報とは関係ありません。当大賞は信頼すべき情報に基づいて R&I が算出したものであり、その正確性及び完全性は必ずしも保証されていません。当大賞は、信用格付行為に関わるものではなく、R&I の行う信用格付行為に影響を及ぼすものではありません。当大賞に関する著作権その他の権利は、R&I に帰属します。R&I の許諾無く、これらの情報を使用(複製、改変、送信、頒布、切除を含む)することを禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーについては、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、必ずしも受賞運用会社の全ての個別ファンドそれぞれについて運用実績が優れていることを示すものではありません。投信の基準価額等は QUICK 調べ。

詳細は R&I のウェブサイトをご覧ください。: http://www.r-i.co.jp/jpn/ie/itr/fund_award/backnumber/2011.html

投資顧問契約および投資一任契約にかかる留意事項

投資一任契約に基づく投資、または投資顧問契約に基づく助言は、主に株式や債券など値動きのある証券(外貨建証券には為替変動リスクもあります)を対象としているため、お客さまの運用資産の評価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。

当該契約に係る主なリスクは以下の通りです。

- ①価格変動リスク、②流動性リスク、③信用リスク、④為替変動リスク、⑤カントリー・リスク、⑥デリバティブリスク、⑦マーケット・ニュートラル戦略およびロング・ショート戦略固有のリスク

■ご負担いただく手数料等について

●投資顧問報酬

投資顧問契約および投資一任契約の対価として、投資資産残高(投資資金額が5億円以上であることが前提)に対して年率3.15%(税抜3.0%)を上限とした投資顧問報酬が契約期間に応じてかかります。また、契約内容によっては、固定報酬に加え成功報酬をご負担いただく場合があります。

●その他費用

その他費用として組入有価証券の売買委託手数料などがかかる場合があります。

投資一任契約に基づき投資信託を組入れた場合は、投資信託の信託報酬、信託財産留保額、組入れ、解約等の際しての手数料等、組入有価証券の売買委託手数料、有価証券の保管などに要する費用、管理費用、監査費用、設立に係る費用、借入金の利息、借株の費用などがかかる場合があります。

[ご注意]

- ※ 成功報酬、その他の費用については、運用戦略および運用状況などによって変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することができません。
- ※ 上記のリスクや手数料等は、個別の契約内容等により異なりますので、契約を締結される際には、事前に契約締結前交付書面を十分にお読みください。

日興アセットマネジメントについて

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会: (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

日興アセットマネジメント(以下、日興 AM)は、設立以来半世紀にわたり、わが国をリードする資産運用会社として、個人投資家のみなさまには多様な金融商品を、機関投資家のみなさまには投資顧問事業を通じて付加価値のある高品質なサービスを提供しています。

日興 AM の投資信託は、銀行や証券会社、ゆうちょ銀行など約 200 社に及ぶ販売会社のネットワークを通じて、お客さまに提供されています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の多様な運用力を活用して日本の投資家に即した形で商品化する「ワールドシリーズ」プラットフォームを展開することで、お客さまのニーズに合った幅広い商品をお届けしています。

1999 年に国内初の社会的責任投資(SRI)ファンドを設定したほか、国内の資産運用会社として他に先駆けて ISO14001(環境マネジメントに関する国際標準規格)の認証を 2001 年に取得するなど、社会的責任活動に積極的に取り組んでいます。

また、2010 年秋からは自社を「投信製作所」と名乗り、運用会社の役割と投資信託の使い方をわかりやすく伝える啓発活動を行なっています。

運用担当者の責任明確化、調査部門と運用部門の連携強化、リスク管理体制の整備など、これまで運用力向上のため行なってきた取組みが実を結び、リッパージャパン、アジアインベスター、R&I などの外部評価機関から、権威ある賞を受賞しています。

日興 AM グループ*の海外ネットワークは、ロンドン、ニューヨーク、シンガポール、シドニー、オークランドに広がり、運用資産残高は約 12.8 兆円(2011 年 3 月末現在)**に上ります。

*「日興 AM グループ」とは日興アセットマネジメント株式会社とそのグループ会社の総称です。

**日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)です。